



2016 年 1 月 吉日

『次世代カラー2次元コード(TCode®)の page2016 への出展』

ー従来2次元コードの大容量化(最大 17 倍)、秘匿性を実現ー



株式会社IT働楽研究所は「次世代カラー2次元コード(TCode®)」を太平洋印刷株式会社(※1)と共同で2016年2月3日(水)から5日(金)までサンシャインシティコンベンションセンターで開催される『page2016』に出展致します。

TCode®は株式会社テララコード研究所(※2)が開発した次世代カラー2次元コードであり、従来の2次元コードに比べ最大17倍の容量を持ち、更に格納した情報の秘匿性に優れており、働楽グループで製品化に向けてTCode生成ソフトウェア、TCode読取ソフトウェアの開発・評価を進めています(TCode®の概要:[別紙1](#))。応用例として商品の流通過程でメーカー、販売店、消費者夫々の立場での商品情報へのアクセス制御を適切に行うことが可能となります。

太平洋印刷株式会社、株式会社テララコード研究所、株式会社IT働楽研究所の3社で有望な印刷分野への適用を検討しており、今回、『page2016』に連携して出展することに致しました。

TCode®の提供・利用形態

	提供内容	提供元
1	TCode生成ソフトウェア	(株)IT働楽研究所
2	TCode読取ソフトウェア	(株)IT働楽研究所
3	TCode生成・印刷ロイヤリティ	(株)IT働楽研究所、太平洋印刷(株)、(株)テララコード研究所

TCode®の利用例

1) アクセス制御([別紙2](#)):

アパレルメーカーが商品を発送する際に①商品コード/商品名②製造ロット番号③商品PRの情報を一つのTCode®に書き込み商品タグに付けて出荷します。夫々の情報は、書き込むときに決められたパスワードによるアクセス制御可能で、メーカーでは①②の情報を読み取り、商品のトレーサビリティに活用することができます。一方、顧客が①③の情報を読み取り、商品情報等をPRすることが可能になります。

2) 真贋判定([別紙3](#)):

部品工場が、部品を発送する際に製品IDと認証コードを書き込んだTCode®を添付します。情報を書き込むときにパスワード(鍵)を使って情報を暗号化します。部品組み立て工場では、部品工場から通知されたパスワードを使用してTCode®を読取り、部品が正規品であることを確認できます。

『page2016』開催概要

- 開催日 : 2月3日(水)~5日(金) 10:00~17:00
- 会場 : サンシャインシティコンベンションセンター
- 出展ブース : ホールB(文化会館4F) BT-4 日本フォーラム印刷工業会ブース内
- URL : <http://www.page.jagat.or.jp/>

【働楽グループのカラー2次元コード(TCode®)に関するお問合せ】

(株)IT働楽研究所 新事業開発部 担当:秋廣、大浦 Tel 03-5298-5301

※1 太平洋印刷株式会社:<http://www.busi-tem.jp/index.html>

※2 株式会社テララコード研究所:<http://tcodes.jp/>